

牧草型

粗飼料多給, 肉用牛生産確立のメニュー

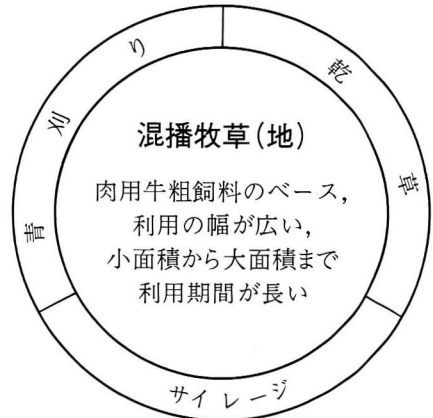
① 湿潤地の永年転作草地に適する混播組み合わせ

リードカナリーグラス「ベンチャー」	1.0	} 3.0(kg/10a)
オーチャードグラス「フロンティア」	1.0	
アルサイクローバ(ノーキュライド種子)	1.0	

② 高収型短年(2~3年)利用に適する混播組み合わせ

オーチャードグラス「ナツミドリ」	1.5	} 3.0(kg/10a)
イタリアンライグラス「エース」	1.0	
アカクローバ「ハミドリ」(ノーキュライド種子)	0.5	

耐暑性優良品種の組み合わせで温暖地への適応性も高い。  
早ばつ時に灌水できれば利用年限も更に伸びる。

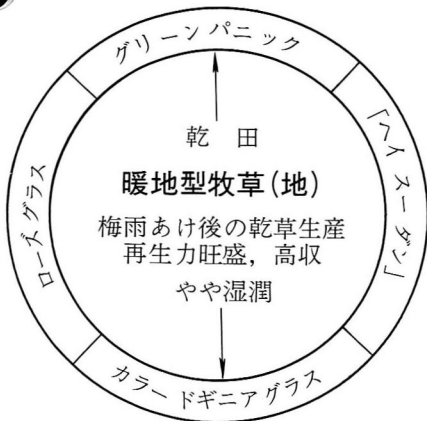


雪印牧草混播種子セット(水田転換用セット) 東北及び高冷地向き (1袋10a分)

セット型	水田イ型	水田ロ型	水田ハ型	水田ニ型
草種・播種量 (品種)	イタリアンライグラス (マンモスイタリアンB) 2.5kg	チモシー (ホクオウ) 1.5kg	オーチャードグラス (フロンティア) 1.5kg	メドーフェスク (ファースト) 1.5kg
	シロクローバ (カリフォルニアラジノ) 0.5	メドーフェスク (ファースト) 0.5	メドーフェスク (ファースト) 0.5	トールフェスク (ケンタッキー-31) 1.0
	計 3.0	アルサイクローバ (カナディアン) 0.5 計 2.5	アカクローバ (ハミドリ) 1.0 計 3.0	シロクローバ (キタオオハ) 0.3 計 2.8
利用年限	1年	2~5年	2~5年	多年
特徴	・春播きで2~3回刈ができる草地。 ・排水の良くない湿潤地にも適する。	・チモシー主体の草地。 ・やや湿潤地にも適する。	・オーチャードグラス主体の草地。 ・排水の良い乾燥地に適する。	・機械の入りづらい湿潤地に適する。 ・永年利用向き。

注) アルサイクローバ(カナディアン), アカクローバ(ハミドリ), シロクローバ(カリフォルニアラジノ, キタオオハ)は根粒菌を接種してあります。

暖地型牧草の上手な播種法



- ① 耕起地
- ② 施肥 (10a当り)
- ③ 播種期
- ④ 播種量
- ⑤ 覆土 鎮庄

種子が微細なため、耕起後の整地を極くいいに行うこと。イタリアンの後地ではプラウで反転し、その後ロータリーを浅く2~3回かけ砕土・整地します。

暖地型牧草は化学肥料(尿素肥料)の多肥により発芽を害しやすく、化学肥料を土とよく混合すること。基肥にチッソ、カリを少なめに施し、3葉期ごろに追肥するとよい。

基肥 チッソ 6~8kg リンサン 20kg カリ 6~8kg(各成分量)  
追肥 (3葉期及び刈取りごとに)  
チッソ 8~10kg カリ 6~8kg(各成分量)

気温が15℃以上になって播種する。土壤水分も大切なポイントで、できれば雨の前に播くとよい。

10a当り2kg。スーダングラス「ヘイスーダン」は4~6kg。均一に播種すること。広い面積ではブロードカスター等を使用する。また、畦幅50~60cmの条播でもよい。

柴ハローやツースーハロー等を用いて、土壤の表層1~2cmを軽くかきまぜる程度でよく、その後、ローラやカルチパッカ等で、必ず2回以上強く鎮圧すること。

●暖地型牧草を初めて栽培される場合は、種子が比較的大きく初期生育も旺盛なスーダングラス「ヘイスーダン」をお奨めします。再生力が旺盛で、草丈1.5mで3~4回刈ができます。